

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	デザイン・作画技法	科目名	デッサンⅡ				科目コード	D0500A1			
配当期	前期・ 後期 ・通年	授業実施形態	通常 ・集中				単位数	4単位			
担当教員名	刀根 純子	履修グループ	1K(DA/DV/MC/SC)				授業方法	演習			
実務経験の内容	グラフィックデザイナーとしてデザイン会社に3年間勤務した経験を活かして、様々なニーズの仕事に対応するための視覚的スキルの向上を目指して講義する。										
学習一般目標	前期で学んだ基本的な表現を認識した上で、質感、バランス、空間を平面上に描き出すことができる。様々なモチーフを通して、光の特性を理解し、表現することができる。										
授業の概要および学習上の助言	デッサンは積み重ねることで気付くことが増えていき、表現も豊かになっていきます。授業だけではなく、毎日の生活の中にデッサンする時間をつくり、コツコツと描き続けましょう。										
教科書および参考書	『パーフェクトマスター デッサン・静物』 誠文堂新光社 『アーティストのための美術補習学』 マール社 必要に応じてプリント配布										
履修に必要な予備知識や技能	基本的に鉛筆でデッサンをします。道具がそろっている、又、描きやすく鉛筆の先が尖っている状態で授業に臨んでください。										
使用機器	鉛筆(推奨:3H、H、HB、B、3B 各1本)、練消しゴム、普通のケシゴム、カッターナイフ、スケール、目玉クリップ 削りカス入れ簡易ゴミ箱										
使用ソフト											
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標									
	1	基本的な形を理解した上で、複雑なモチーフを描くことができる。									
	1	光の特性を理解し、質感を表現することができる。									
	1	光の特性を理解し、陰影を表現することができる。									
	1	遠近法を理解し、形を立体的に表現することができる。									
	5	講義と実習において、意欲を持って取り組むことができる。									
達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計		
	総合評価割合					80		20	100		
	学部 D P	1.知識・理解					80			80	
		2.思考・判断									
		3.態度									
		4.技能・表現									
	5.関心・意欲							20	20		

評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点
	試験	
	クイズ 小テスト	
	レポート	
	成果発表 (口頭・実技)	
	作品	授業内で制作する作品を提出する。 課題に対する理解度・完成度から評価を行う。 ※立体表現、描きこみに特に注意すること。
	ポートフォリオ	
	その他	授業に対する姿勢や課題に対する取り組み、出席状況。

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 9/30(月)	【直方体の応用】コンクリートブロック ・形状、パースを分析する	講義・実習	
第2週 10/7(月)	【直方体の応用】コンクリートブロック ・質感を表現する	講義・実習	
第3週 10/14(月)	【円柱の応用】ガラスコップ+水 ・光の性質を理解する	講義・実習	
第4週 10/21(月)	【円柱の応用】ガラスコップ+水 ・質感を表現する	講義・実習	
第5週 10/28(月)	【直方体・円柱の応用】牛乳パック or 瓶 ・形状、パースを分析する	講義・実習	
第6週 11/4(月)	【直方体・円柱の応用】牛乳パック or 瓶 ・質感を表現する	講義・実習	
第7週 11/11(月)	【細密デッサン】 さざえ ・表現力を考える	講義・実習	
第8週 11/18(月)	【水彩デッサン】 野菜 ・色彩を意識する	講義・実習	持ち物 (水彩道具)
第9週 11/25(月)	【人物クロッキー】 ・様々な動きの表現理解	講義・実習	
第10週 12/2(月)	【人物デッサン】 モデル	講義・実習	
第11週 12/9(月)	【静物デッサン】 難易度中 1点	講義・実習	
第12週 12/16(月)	【静物デッサン】 難易度中 1点	講義・実習	
第13週 12/23(月)	【石膏デッサン】 手、足、頭蓋骨	講義・実習	
第14週 1/20(月)	【石膏デッサン】 手、足、頭蓋骨	講義・実習	